褥瘡対策委員会

委員長：鈴木好文・事務局：佐藤敦子

【構成員】

10名（医師１名　看護師５名　薬剤師１名　作業療法士１名　精神保健福祉士１名　管理栄養士１名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例回診　第２火曜日14：00 定例会議　第２木曜日15：00
平成26年 ４月	１．定例回診：９日　対象者３名 ２．定例会議：11日 ⑴　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者０名、転帰者１名 ⑵　症例検討：２名
５月	１．定例回診：７日　対象者５名 ２．定例会議：８日 ⑴　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者２名、転帰者２名 ⑵　症例検討：５名
６月	１．定例回診：10日　対象者４名 ２．定例会議：12日 ⑴　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者３名、転帰者２名 ⑵　症例検討：３名
７月	１．定例回診：８日　対象者３名 ２．定例会議：10日 ⑴　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者１名、転帰者１名 ⑵　症例検討：３名 ⑶　連絡事項：11・12日第11回日本褥瘡学会関東甲信越地方会学術集会に医師１名、看護師２名参加、「在宅褥瘡管理者」資格を取得。 23・24日Evening studies（褥瘡に関する新しい知識）を実施。
８月	１．定例回診：12日　対象者１名 ２．定例会議：14日 ⑴　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者１名、転帰者３名 ⑵　症例検討：１名
９月	１．定例回診：９日　対象者４名 ２．定例会議：11日 ⑴　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者２名、転帰者１名 ⑵　症例検討：２名
10月	１．定例回診：７日　対象者５名 ２．定例会議：９日 ⑴　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者３名、転帰者１名 ⑵　症例検討：４名
11月	１．定例回診：11日　対象者５名 ２．定例会議：13日 ⑴　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者４名、転帰者４名 ⑵　症例検討：４名 ⑶　連絡事項：12・13日にEvening studies（スキンケア）を実施。

委員会活動報告

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
12月	1．定例回診：9日　対象者4名 2．定例会議：11日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者1名、転帰者3名 (2)　症例検討：1名
平成27年 1月	1．定例回診：6日　対象者4名 2．定例会議：8日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者2名、転帰者0名 (2)　症例検討：4名
2月	1．定例回診：10日　対象者7名 2．定例会議：12日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者4名、転帰者2名 (2)　症例検討：5名
3月	1．定例回診：10日　対象者5名 2．定例会議：12日 (1)　入院患者褥瘡発生者データ：褥瘡発生者2名、転帰者4名 (2)　症例検討：2名

【評　価】

褥瘡統計：月内発生者平均　2.0名
　　褥瘡患者平均（発生者含む）　2.9名
　　治癒者平均　2.1名

Evening studies：2回実施

文 責　佐藤　敦子

ＮＳＴ委員会

委員長：鈴木好文・事務局：吉川萌

【構成員】

5名（医師1名　看護師1名　薬剤師1名　作業療法士1名　管理栄養士1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第2木曜日 ＮＳＴ対象患者のケア計画の立案・実施・評価
平成26年 4月	1．定例会議：10日 ⑴　報告事項：3月期低体重・低Alb値患者報告、2ヶ月連続体重減少者報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名
5月	1．定例会議：8日 ⑴　報告事項：4月期低体重・低Alb値患者報告、2ヶ月連続体重減少者報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名、ＮＳＴ回診1名
6月	1．定例会議：12日 ⑴　報告事項：5月期低体重・低Alb値患者報告、2ヶ月連続体重減少者報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討3名
7月	1．定例会議：10日 ⑴　報告事項：6月期低体重・低Alb値患者報告、半年（12月から6月期）で5kg以上減少者報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の情報提供の検討 2．活動事項：ＮＳＴ検討3名
8月	1．定例会議：14日 ⑴　報告事項：7月期低体重・低Alb値患者報告、半年（1月から7月期）で5kg以上減少者報告、半年で5kg以上減少者の経過報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名、ＮＳＴ回診1名
9月	1．定例会議：11日 ⑴　報告事項：8月期低体重・低Alb値患者報告、半年（2月から8月期）で5kg以上減少者報告、半年で5kg以上減少者の経過報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名
10月	1．定例会議：9日 ⑴　報告事項：9月期低体重・低Alb値患者報告、半年（3月から9月期）で5kg以上減少者報告、半年で5kg以上減少者の経過報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名
11月	1．定例会議：13日 ⑴　報告事項：10月期低体重・低Alb値患者報告、半年（4月から10月期）で5kg以上減少者報告、半年で5kg以上減少者の経過報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討1名

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
12月	1．定例会議：11日 ⑴　報告事項：11月期低体重・低Alb値患者報告、半年（5月から11月期）で5kg以上減少者報告、半年で5kg以上減少者の経過報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討1名
平成27年 1月	1．定例会議：8日 ⑴　報告事項：12月期低体重・低Alb値患者報告、半年（6月から12月期）で5kg以上減少者報告、半年で5kg以上減少者の経過報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名
2月	1．定例会議：12日 ⑴　報告事項：1月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（7月から1月期）で5kg以上減少者報告、半年で5kg以上減少者の経過報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認 2．活動事項：ＮＳＴ検討4名
3月	1．定例会議：12日 ⑴　報告事項：2月期低体重・低Alb値・肥満患者報告、半年（8月から2月期）で5kg以上減少者報告、半年で5kg以上減少者の経過報告 ⑵　協議事項：新規ＮＳＴアプローチ患者確認、体重減少者の改善策確認、ＢＭＩの基準検討、勉強会開催の検討 2．活動事項：ＮＳＴ検討2名

【評　価】

・低体重者　平均55.3名

・低Alb値者　平均4.4名

・肥満者　　平均52.2名

・半年で5kg以上減少者　平均20.8名

前年度と比較して低体重者の平均値が6.6名増加した。しかし、6月期から半年で5kg以上体重減少者を挙げ、各病棟に情報提供を行った結果、当初29名いた体重減少者が3月期で13名となった。また、個別に対策を挙げ、モニタリングしていることも成果の一つだと考えられる。2月期からは低体重だけでなく肥満者の報告も行っている。今後は低栄養だけではなく肥満の予防にも注目し患者の健康増進を支援して行きたい。

文責　吉川　　萌

薬 事 委 員 会

委員長：鈴木好文・事務局：川島伴子

【構成員】

13名（医師10名　看護師１名　薬剤師１名　事務員１名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
隔　月	定例会議　奇数月第１月曜日 薬物治療・薬剤業務の適正化、医薬品の無秩序な購入の防止
平成26年 ５月	定例会議：12日 ⑴　協議事項：削除薬・新規採用薬の検討 ⑵　報告事項：服薬指導依頼の調整について、運転等の注意喚起薬の取り組み
７月	定例会議：７日 ⑴　協議事項：削除薬・新規採用薬の検討、後発薬品への切り替え検討 ⑵　報告事項：運転・危険作業に留意する薬剤への当院の取り組みについて 休日・夜間の調剤について、救急カート薬剤の確認
９月	定例会議：１日 ⑴　協議事項：削除薬・新規採用薬の検討、処方制限薬の検討について ⑵　報告事項：薬剤科で一任できる事項の検討、２階病棟患者への薬剤調整
11月	定例会議：17日 ⑴　協議事項：削除薬・新規採用薬の検討 ⑵　報告事項：処方制限薬の緩和と院内ルールについて、服薬指導依頼の簡素化
平成27年 １月	定例会議：５日 ⑴　協議事項：削除薬・新規採用薬の検討、後発薬品への切り替え検討 ⑵　報告事項：調剤薬局からの情報共有について、検査科より測定可能項目の追加と各基準値の報告
３月	定例会議：２日 ⑴　協議事項：削除薬・新規採用薬の検討、後発薬品への切り替え検討 ⑵　報告事項：カルテ内の記載スペースについて、持参薬のDo処方について

【評　価】

平成26年度も不動薬剤の情報提供や後発薬への切り替えを検討した。院内採用薬剤数は541薬剤、後発薬101（18.6%）。５年前と比較して薬剤数は変化ないものの後発薬の割合が５％上がった。副作用に関する具体的な取り組みも協議し、適正な薬物治療を患者に提供している。

今後も安価な医薬品に特化するだけでなく、薬学的評価を基本として医師、薬剤師で協議し安全で適正な薬物治療を提供する。

文 責　川島　伴子

病院食検討委員会

委員長：後藤雅博・事務局：山岸桃子

【構成員】

9名（医師2名　看護師3名　管理栄養士2名　委託会社職員2名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
隔　月	定例会議　偶数月　第2水曜日16：00 ・イベント・行事食の実施・評価 ・検食簿集計報告 ・病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討
平成26年 4月	定例会議：9日 (1)　報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告 平成25年度栄養充足率報告 (2)　協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 平成26年度イベントスケジュールについて
6月	定例会議：11日 (1)　報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告 (2)　協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討
8月	定例会議：13日 (1)　報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告 (2)　協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討
10月	定例会議：8日 (1)　報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告 (2)　協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討
12月	定例会議：10日 (1)　報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告 (2)　協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討 平成26年度嗜好調査について
平成27年 2月	定例会議：4日 (1)　報告事項：実施済みイベント・行事食について、検食簿集計報告 平成26年度嗜好調査結果報告 (2)　協議事項：病棟・給食・栄養科からの意見・要望の検討

【評　価】

・イベント・行事食：月2回以上実施

・ビュッフェ：各病棟、デイケアにて年間19回実施

・入院患者、デイケア利用者を対象に嗜好調査アンケート実施　回収率47%

本年度はデイケアでのビュッフェの実施回数を増やし、多くの利用者が参加した。また、病棟におけるビュッフェでは品数を増やし、充実を図った。さらに、入院患者とデイケア利用者に実施した嗜好調査では、味付けや量に関する意見が多く寄せられ、給食に対する関心の高さが伺えた。今後も給食利用者の意見に耳を傾け、安心・安全で美味しい食事提供に努めたい。

文責　山岸　桃子

衛 生 委 員 会

委員長：後藤雅博・事務局：村木憲一

【構成員】

6 名（医師 2 名　看護師 1 名　薬剤師 1 名　臨床検査技師 1 名　臨床心理士 1 名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第 2 木曜日16：00 職員の労働安全衛生に関する活動について立案及び調査審議
平成26年 4 月	定例会議：10日 報告事項：平成26年度春季健康診断について
5 月	定例会議： 8 日 報告事項：平成26年度春季健康診断について
6 月	定例会議：12日 報告事項：平成26年度春季健康診断について
7 月	定例会議：10日 報告事項：平成26年度春季健康診断について
8 月	定例会議：14日 報告事項：平成26年度春季健康診断について
9 月	定例会議：11日 協議事項：ストレスチェックの導入について、健康診断の運用にについて
10月	定例会議： 9 日 ⑴　報告事項：秋季健康診断について ⑵　協議事項：Evening　Studies（メンタルヘルス）について
11月	定例会議：13日 報告事項：秋季健康診断について
12月	定例会議：11日 報告事項：秋季健康診断について
平成27年 1 月	定例会議： 8 日 ⑴　報告事項：秋季健康診断について ⑵　協議事項：Evening　Studies（メンタルヘルス）について
2 月	定例会議：12日 ⑴　報告事項：平成27年度春季健康診断について ⑵　協議事項：Evening　Studies（メンタルヘルス）について
3 月	定例会議：13日 報告事項：平成27年春季健康診断について 職員の胸部X線撮影について、献血車来院について

【評　価】

・春・秋年 2 回の職員健診を実施

・「ストレス対処について」のEvening　Studiesを実施

今後とも職員の心身の健康維持増進を行えるよう健診の実施及び啓蒙・教育を実践していく。

文 責　**村木　憲一**

医療観察法運営委員会

委員長：後藤雅博・事務局：吉川牧子

【構成員】

9名（医師1名　看護師3名　作業療法士1名　精神保健福祉士2名　臨床心理士1名　事務員1名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第4木曜日16:00 ・通院医療対象者の受け入れから処遇終了に至るまでの報告および検討 ・通院医療対象者の個別治療計画の検討と承認 ・個別多職種チームの編成と運営について ・通院医療に関する問題点の検討 ・その他
平成26年 4月	定例会議：24日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況
5月	定例会議：22日 報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況
6月	定例会議：26日 (1)　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 (2)　協議事項：受け入れについて
7月	1．定例会議：24日 (1)　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 (2)　協議事項：受け入れについて 2．活動事項：7月4～5日　第10回医療観察法関連職種研修会参加
8月	1．定例会議：28日 (1)　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 (2)　協議事項：受け入れについて 2．活動事項：8月7日　医療観察制度セミナー参加 ：医療観察制度モニタリング研究について（調査回答）
9月	定例会議：25日 (1)　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 (2)　協議事項：受け入れについて
10月	1．定例会議：23日 (1)　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 (2)　協議事項：受け入れについて 2．活動事項：10月8日　医療観察地域連絡会参加
11月	定例会議：27日 (1)　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 (2)　協議事項：受け入れについて

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
12月	定例会議：25日 ⑴　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 ⑵　協議事項：受け入れについて
平成27年 1月	定例会議：22日 ⑴　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 ⑵　協議事項：受け入れについて
2月	定例会議：26日 ⑴　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 ⑵　協議事項：受け入れについて
3月	定例会議：26日 ⑴　報告事項：県内申立総数、受け入れに関する進捗状況 ：通院処遇対象者の経過報告 ⑵　協議事項：受け入れについて

【評　価】

平成26年度は1名の新規対象者を受け入れた。保護観察所および指定入院医療機関との情報共有や連携を滞りなく、かつ密に行ったため、混乱もなくスムーズに受入れができた。

平成25年度に電子カルテを導入したが、これまでに受け入れた対象者の各種資料、共通評価項目やICF等の評価シート、ケアおよびチーム会議録等の取り込みが完了できなかった。これについては次年度も継続して実施したい。

次年度も引き続き、指定通院医療機関従事者研修等に職員を派遣し、知識や技術の向上を図りたい。また、チーム運営や各種評価に関するサポートを行える体制作りを目指したい。

文 責　吉川　牧子

退院支援委員会

委員長：後藤雅博・事務局：吉川牧子

【構成員】

11名（医師２名　看護師３名　作業療法士２名　精神保健福祉士３名　臨床心理士１名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第４金曜日　15:00 ・各部門における受け入れ状況の報告 （デイケア・福祉事業所・総合支援室・作業療法科） ・各病棟における退院支援進捗状況の報告 （１階北病棟・４階病棟・５階病棟） ・長期入院者への退院支援に関する協議および検討 ・各種評価および研修参加等の取りまとめ ・地域機関との連絡会（新潟地域振興局圏域）開催にあたる各種業務
平成26年 ４月	定例会議：25日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
５月	定例会議：23日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
６月	１．定例会議：27日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況 ２．第１回南浜病院と地域機関の連絡会開催（新潟地域振興局圏域）：17日
７月	定例会議：25日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
８月	１．定例会議：22日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況 ２．地域移行・地域定着支援候補者面談（新潟地域振興局圏域）：５日
９月	定例会議：26日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
10月	定例会議：24日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
11月	定例会議：28日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
12月	１．定例会議：26日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況 ２．第２回南浜病院と地域機関の連絡会開催（新潟地域振興局圏域）：16日 ３．新潟市精神障がい者地域移行地域定着研修会参加：25日
平成27年 １月	定例会議：23日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
2月	定例会議：27日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況
3月	1．定例会議：27日 報告事項：各部署からの最新情報、退院支援対象者の進捗状況 2．第3回南浜病院と地域機関の連絡会開催（新潟地域振興局圏域）：4日 3．新潟圏域地域移行地域定着支援部会参加：4日 4．Evening Studies（院内研修）開催：11・12日 5．新潟市地域相談支援研究会・社会資源見学会職員派遣：19・20日 6．新潟市地域相談支援研究会・社会資源見学会および意見交換会：20日

【評　価】

平成26年度より、退院支援委員会と地域生活支援会議が合併し、委員会自体の方向性を模索しながらの1年であった。各病棟におけるプログラムの充実や退院支援グループの均一化の難しさ等があり、公開講座やクローズドグループの開催は見合わせ、各病棟での取り組みを基礎とした。長期入院患者の高齢化が著しく、まずは通常の支援の一貫として介護保険申請や施設利用等を検討することを方針とした。加え、知的障害等による社会的入院者に対しては在宅移行もしくは施設利用を検討することとした。同様に中長期に渡る社会的入院者に対しては、それぞれの特徴を踏まえた退院支援を行ない、課題等があれば退院支援員会で意見交換をした。また、地域移行支援事業利用者等の進捗確認等を実施。しかし、施設申請や地域移行に至ることは少なく、その要因としては家族関係の希薄化、キーパーソンや医療代諾者の不在、長期入院による生活への影響等が挙げられる。今後も引き続き支援を行うとともに、新しい視点による新たな取り組みを検討する必要がある。また、「住み慣れた地域で生活をすること」「地域で暮らすことの意味や意義」を職員全体が意識できる仕掛けや仕組み、環境作りも重要と考える。

昨年度に続き、地域機関との連絡会（新潟地域振興局）を計3回開催し、長期入院者に関する情報共有や意見交換を行った。長期入院高齢精神障害者に対する支援と連携を共通課題とし、今後は介護保険課や地域包括支援センター等も含めた連絡会の開催を模索していく。これまでの経過や現状を踏まえ、次年度はより具体的に地域移行支援を実現する。

文 責　吉川　牧子

業務改善委員会

委員長：川島浩也・事務局：村山礼子

【構成員】

13名（医師１名　看護師３名　薬剤師１名　診療放射線技師１名　臨床検査技師１名　作業療法士１名
精神保健福祉士１名　管理栄養士１名　事務員２名　看護補助員１名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　　第１木曜日　15：30～
平成26年 ４月	定例会議：４日 ⑴　報告事項：ウェットタオルについて ⑵　協議事項：口拭きタオル、清拭タオルについて
５月	定例会議：２日 ⑴　報告事項：口拭きタオル、清拭タオルについて ⑵　協議事項：電子カルテについて 書類の保管と運用の検討
６月	定例会議：６日 報告事項：電子カルテについて 栄養科からの削除箋発行・検体ラベルのレイアウト変更 歯科フォルダの追加・外出外泊指示箋の項目追加 心理検査の指示箋出力
７月	定例会議：３日 ⑴　報告事項：電子カルテについて 外出外泊許可申請書の変更 ⑵　協議事項：電子カルテについて 書類保管の検討
８月	定例会議：７日 協議事項：電子カルテについて 各フォルダに分類する資料の選定
９月	定例会議：４日 協議事項：電子カルテについて 各フォルダに分類する資料の選定
10月	定例会議：２日 報告事項：電子カルテについて フォルダの名称変更・項目追加について
11月	定例会議：６日 協議事項：電子カルテについて 必要な項目の追加、調整
12月	定例会議：８日 報告事項：電子カルテ・紙カルテについて 機能追加

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
平成27年 1月	定例会議：8日 協議事項：電子カルテについて 電子カルテ処理速度アンケート調査
2月	定例会議：5日 ⑴　報告事項：電子カルテについて 表記変更 ⑵　協議事項：26年度版電話対応マニュアルについて
3月	定例会議：5日 報告事項：家族付き添い時の対応マニュアル保管場所変更について

【評　価】

26年度は電子カルテ導入後の運用や操作方法、問題点などを各部署から出してもらいそれを情報共有し早期に問題解決に向けて改善できるように検討した。

構成員が各部署から選出され、スムーズに情報共有・情報伝達が出来た。

文 責　**村山　礼子**

未収金対策委員会

委員長：鈴木好文　・事務局：川島博幸

【構成員】

6名（医師2　看護師1　精神保健福祉士1　事務員2）

【議事及び活動内容】

月　日	議事及び活動内容
毎　月	定例会議　第2月曜日　16：00 未収金の状況把握及び対応・対策の検討
平成26年度 4月	定例会議　14日　議題 (1)　1月時点の未収金報告 (2)　滞納者へのアプローチ状況報告 (3)　その他・貸し倒れ処理報告
5月	定例会議　12日　議題 (1)　2月時点の未収金報告 (2)　滞納者へのアプローチ状況報告 (3)　その他・受任通知の対応。支払い意思のない悪質なケースの方針、このことに伴う関係部署・関係機関への対応を検討
6月	定例会議　9日　議題 (1)　3月時点の未収金報告 (2)　滞納者へのアプローチ状況報告 (3)　その他・一向に入金確認できない滞納者への訪問計画、債権届出書以降の督促および今後の方針を検討
7月	定例会議　14日　議題 (1)　4月時点の未収金報告 (2)　滞納者へのアプローチ状況報告 (3)　その他・悪質者の現状報告
8月	定例会議　11日　議題 (1)　5月時点の未収金報告 (2)　滞納者へのアプローチ状況報告 (3)　その他・夜間休日受診による未収金対策について検討
9月	定例会議　8日　議題 (1)　6月時点の未収金報告 (2)　滞納者へのアプローチ状況報告 (3)　その他・夜間休日受診の保証金預かり制度について（平成26年10月1日施行）
11月	定例会議　11日　議題 (1)　8月時点の未収金報告 (2)　滞納者へのアプローチ状況報告
12月	定例会議　8日　議題 (1)　9月時点の未収金報告 (2)　滞納者へのアプローチ状況報告
平成27年 1月	定例会議　13日　議題 (1)　10月時点の未収金報告 (2)　滞納者へのアプローチ状況報告

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
2月	定例会議　9日　議題 ⑴　11月時点の未収金報告 ⑵　滞納者へのアプローチ状況報告 ⑶　その他・入院申込書取扱い不備について報告・検討
3月	定例会議　9日　議題 ⑴　12月時点の未収金報告 ⑵　滞納者へのアプローチ状況報告 ⑶　その他・診療費口座振替情報の報告及び検討

【評　価】

今年度は未収金発生防止の取り組みとして、外来患者の一部を対象に新に保証金制度を導入した。次年度も未収金は病院全体の課題と位置づけ未収金発生防止に努める。

文 責　川島　博幸

心理社会療法委員会

委員長・事務局：中川甚一郎

【構成員】

11名（看護師７名　臨床心理士４名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	院内における心理社会療法プログラムの立案、企画、実施、マネージメント
平成26年 ４月	活動事項 長期入院SSTグループ（延べ13名）・回想法グループ（延べ８名） ５階心理教育グループ（延べ55名）・５階SSTグループ（延べ18人） ５階お楽しみ会（アロマグループ６名）・５階認知行動療法グループ（延べ５名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（３名）
５月	活動事項 長期入院SSTグループ（延べ13名）・３階心理教育グループ（延べ71名）回想法グループ（延べ６名）・５階SSTグループ（延べ20名） ５階お楽しみ会（アロマグループ11名） ５階認知行動療法グループ（３名）・家族相談会第１クール第１回（８名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（２名）
６月	活動事項 長期入院SSTグループ（延べ19名）・３階SSTグループ（延べ16名）回想法グループ（延べ14名）・５階心理教育グループ（延べ32名） ５階SSTグループ（延べ３名）・５階お楽しみ会（アロマグループ５名） ５階認知行動療法グループ（延べ13名）・家族相談会第１クール第２回（９名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（６名）
７月	活動事項 長期入院SSTグループ（延べ23名）・３階心理教育グループ（延べ68名） ３階SSTグループ（延べ13名）・回想法グループ（延べ７名） ５階SSTグループ（延べ13名）・５階お楽しみ会アロマグループ（３名） ５階認知行動療法グループ（延べ６名）・家族相談会第１クール第３回（５名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（５名）
８月	活動事項 長期入院SSTグループ（延べ18名）・３階SSTグループ（延べ８名）回想法グループ（延べ８名）・５階心理教育グループ（延べ54名） ５階SSTグループ（延べ９名）・５階お楽しみ会アロマグループ（13名） ５階認知行動療法グループ（延べ９名）・家族相談会第１クール第４回（７名）家族相談会第２クール第１回（10名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（４名）
９月	活動事項 長期入院SSTグループ（延べ20名）・３階心理教育グループ（延べ54名）回想法グループ（延べ７名）・５階SSTグループ（延べ15名） ５階お楽しみ会アロマグループ（３名）・５階認知行動療法グループ（延べ５名）家族相談会第１クール第５回（６名）・家族相談会第２クール第２回（10名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（５名）
10月	活動事項 長期入院SSTグループ（延べ15名）・回想法グループ（延べ12名） ５階心理教育グループ（延べ46名）・５階SSTグループ（延べ21名） ５階お楽しみ会アロマグループ（５名）・５階認知行動療法グループ（延べ11名）家族相談会第１クール第６回（６名）・家族相談会第２クール第３回（10名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（２名）

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
11月	活動事項 長期入院SSTグループ（延べ15名）• 3 階心理教育グループ（延べ47名）回想法グループ（延べ16名）• 5 階心理教育グループ（延べ34名） 5 階SSTグループ（延べ17名）• 5 階お楽しみ会アロマグループ（ 4 名） 5 階認知行動療法グループ（13名）• 家族相談会第 1 クール第 7 回（ 6 名）家族相談会第 2 クール第 4 回（ 5 名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（ 4 名）
12月	活動事項 長期入院SSTグループ（延べ15名）• 3 階SSTグループ（延べ12名）回想法グループ（延べ17名）• 5 階SSTグループ（17名） 5 階お楽しみ会アロマグループ（ 4 名）• 5 階認知行動療法グループ（延べ 8 名）家族相談会第 1 クール第 8 回（ 5 名）• 家族相談会第 2 クール第 5 回（ 5 名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（ 6 名）
平成27年 1 月	活動事項 長期入院SSTグループ（延べ10名）• 3 階心理教育グループ（延べ48名） 3 階SSTグループ（12名）• 回想法グループ（延べ14名） 5 階心理教育グループ（延べ44名）• 5 階SSTグループ（延べ 5 名） 5 階認知行動療法グループ（延べ10名）• 家族相談会第 2 クール第 6 回（ 9 名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（ 4 名）
2 月	活動事項 長期入院SSTグループ（延べ10名）• 回想法グループ（延べ14名） 5 階SSTグループ（延べ19名）• 5 階お楽しみ会アロマグループ（ 2 名） 5 階認知行動療法グループ（延べ 9 名）• 家族相談会第 2 クール第 7 回（ 8 名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（ 6 名）
3 月	活動事項 3 階SSTグループ（延べ18名）• 回想法グループ（延べ 7 名） 5 階SSTグループ（延べ20名）• 5 階お楽しみ会アロマグループ（ 4 名） 5 階認知行動療法グループ（延べ 6 名）• 家族相談会第 2 クール第 8 回（ 7 名）はまかぜ会 家族相談会OBグループ（12名）

【評　価】

新たなプログラムもでき、病棟特性や患者ニーズを配慮し実施したが、反面、プログラム間の連携が不足していた。運営上の問題点を話し合える定期的なミーティングの開催を来年度は必須としたい。

文 責　**中川甚一郎**

デイケア科運営委員会

委員長：後藤雅博・事務局：布施江利子

【構成員】

13名（医師１名　看護師５名　作業療法士２名　精神保健福祉士４名　臨床心理士１名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	毎月第３水曜日16:15～ デイケア実績報告、通所・試み・見学予定者報告
平成26年 ４月	定例会議：16日 報告事項：平成26年３月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録114名、延べ利用数740名、１日平均41.1名
５月	定例会議：21日 報告事項：平成26年４月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録100名、延べ利用数872名、１日平均41.5名 「円卓を使用し入りやすい喫茶」「メンバーが行うDC見学案内」開始
６月	定例会議：18日 報告事項：平成26年５月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録101名、延べ利用数821名、１日平均41.1名 院長より「ピアサポーターについて」講演 「共同住居ミーティング」開始
７月	定例会議：16日 報告事項：平成26年６月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録102名、延べ利用数897名、１日平均42.7名 「ピアサポーター育成プログラム」開始
８月	定例会議：20日 報告事項：平成26年７月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録104名、延べ利用数961名、１日平均43.7名
９月	定例会議：17日 報告事項：平成26年８月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録105名、延べ利用数874名、１日平均41.6名 「就労セミナー」２クール目・成田先生による「WRAP」開始
10月	定例会議：15日 報告事項：平成26年９月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録107名、延べ利用数910名、１日平均45.5名
11月	定例会議：19日 報告事項：平成26年10月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録102名、延べ利用数946名、１日平均43名
12月	定例会議：17日 報告事項：平成26年11月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録103名、延べ利用数770名、１日平均42.8名 スリランカより看護学生がDC見学、ケースカンファレンスの報告

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
平成27年 1月	定例会議：21日 報告事項：平成26年12月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録104名、延べ利用数759名、1日平均38名
2月	定例会議：18日 報告事項：平成27年1月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録105名、延べ利用数730名、1日平均38.5名
3月	定例会議：18日 報告事項：平成27年2月実績・プログラム参加状況・利用者の動向報告 登録105名、延べ利用数738名、1日平均38.8名

【評　価】

本年度はピアサポーターの立ち上げを行ったが多職種で行っている利点を生かし、ピアサポーターの活躍の場を広げる事が出来た。また、外来スタッフにデイケアを理解してもらえたことで外来患者の見学・試み参加者が増え、新規メンバーの登録につながった。しかし、入院患者からの見学や試み参加は減少傾向であった。病棟スタッフにデイケアの理解を深めてもらうこと、病棟スタッフから患者の要望などの情報提供をもらえるように改善し、開催していきたい。

文 責　**布施江利子**

精神科救急病棟建設準備委員会

委員長：後藤雅博・事務局：相馬祐一

【構成員】

12名（医師 3 名　看護師 4 名　准看護師 1 名　精神保健福祉士 2 名　事務員 2 名）

【議事及び活動内容】

月　日	議 事 及 び 活 動 内 容
毎　月	定例会議　第 3 木曜日　14:30
平成26年 4 月	定例会議：24日 ⑴　報告事項：届出要件の確認と時間外診療、措置入院受け入れ実績の確認 ⑵　協議事項：新築工事プランの検討 新築工事プランの説明 新病棟立地場所、全個室等の検討
5 月	定例会議：22日 ⑴　報告事項：届出要件の確認と時間外診療、措置入院受け入れ実績の確認精神科救急病棟 入院料の試算報告 ⑵　協議事項：新築工事プランの検討 設計工程報告、全個室検討、アメニティの提案
6 月	1．臨時会議：17日 ⑴　協議事項：新築工事プランの検討救急病棟の階数検討 2．定例会議：23日 ⑴　協議事項：新築工事プランの検討 新病棟形状の検討
7 月	1．定例会議：24日 ⑴　報告事項：届出要件の確認と時間外診療、措置入院受け入れ実績の確認 ⑵　協議事項：新築工事プラン検討、渡り廊下・病棟のレイアウトの検討 2．臨時会議：30日 ⑴　報告事項：届出要件の確認と時間外診療、措置入院受け入れ実績確認 ⑵　協議事項：新築工事プランの検討
8 月	1．臨時会議：7 日 ⑴　報告事項：届出要件の確認と時間外診療、措置入院受け入れ実績確認 ⑵　協議事項：新築工事プランの検討、保護室・診察室・浴室などのアメニティの検討 2．定例会議：28日 ⑴　報告事項：届出要件の確認と時間外診療、措置入院受け入れ実績確認 ⑵　協議事項：新築工事プランの検討

【評　価】

・定例会議　5 回
・臨時会議　3 回

当院に適した精神科救急病棟の在り方、設置のための検討・準備を行うことを目的に開催した精神科病棟準備委員会から改称し、より具体的に病棟建設の具体案を検討し提案できるように活動する精神科救急病棟建設準備委員会を計 8 回開催した。

準備委員会からの役割を考えると、当初は委員の多くが精神科救急病棟のことがわからず、情報収集とその理解に終始したが、回を重ねるごとに救急病棟のことが理解でき、病棟のアウトラインを検討する議論ができた。また、委員会だけが救急病棟を理解するのではなく、会の職員全員が救急病棟を理解できるような研修、講演会などを実施し情報発信を行った。委員会は、その他届出要件の確認や建設への提案など一定の役割を果たしたため 8 月の定例会議を以て終了した。

文 責　**相馬　祐一**